

特別支援教育の正しい理解のために

学校や地域で適切な支援を
必要とする子どもたちがいます。

周りの音が気になって
しかたがないの。



文字がぼやけたり、
黒い塊に見えるんだ。

一生懸命
本を読んでいるのに、
違うところを読んじゃう。



私たちが困っていることを
もっとみんなに分かってほしい

どこに何を
しまったらいいの。



宿題をよく忘れちゃう。
時間までに終わらない。



筆算のケタが
ずれちゃう。

席にじっと座るのが
苦手だな。



令和6年3月

宗像市教育委員会

監修：福岡教育大学

こんなことありませんか？



遊びのルールが分からず、
友だちとけんかになっている。

先生の指示が
理解できない。

文字を書くのが苦手。
どうしても漢字が
覚えられない。

筆算のケタが
ずれやすい。

席にじっと座っていない。

一生懸命、本を読むのに、
同じ行を読んだり、
とぼしたりする。

急に怒ったり暴れたりして、
感情のコントロールが難しい。

会話が一方的で
周りとの会話が
かみ合っていない。

注意してもすぐに散らかる。

ちよつとした音や
匂いに気が散り、
集中できていない。

気になる子どもたちのすべてが病気
や障がいではありません。

育て方が原因ではない子、ふざけたり
わざと場を乱している訳ではない
子もいます。

一時的なことも考えられます。



Point!

どう接すればいいの？

＊「よいところ」に注目しましょう

- できなかったことをしかるのではなく、できたことをほめる
- スモールステップで一つずつクリアできるような手助けをする

＊伝えかたを工夫しましょう

- 短い文章で、具体的に伝える
- 写真や絵などで目で見て分かるように示しながら伝える
- 1日の活動の流れや、予定の変更などを事前に伝え、見通しを持てる工夫をする
- 「ダメでしょ！」ではなく「〇〇がいいよ。」というように具体的な行動を教える

＊みんなで支え合う仕組みを利用しよう

相談先

▶ 子どもと家庭に関するあらゆる心配事について

おおむね0歳から18歳までの子ども、妊産婦と、その家庭に関するあらゆる心配事について相談に応じます。

子ども家庭センター ☎0940-36-1302

▶ 特別支援教育について

特別支援教育に関することや就学相談などを行っています。

学校整備プロジェクト室
☎0940-36-9610

▶ 福祉サービスの提供について

障がいについての相談や、手帳申請の受付、通所事業所の利用に関する手続き等の様々な福祉サービスの提供を行っています。

福祉政策課 ☎0940-36-3135

▶ 福岡教育大学特別支援教育センター

☎0940-35-1559

▶ 子どもの発達支援について

乳幼児から中学校までの子どもの成長発達や育児の悩み、友だちとの関係や学習の苦手さなどに関する総合相談窓口です。

発達支援室 ☎0940-36-9098

▶ 福祉サービスの利用や生活について

宗像市からの委託を受けて、障がいのある人や家族を対象に、福祉サービスの利用や生活についての相談窓口です。

宗像市障害者生活支援センター
☎0940-34-2411

▶ 障がいがある方の就業面と生活面の 一体的な支援について

就職を希望される障がい者の方、在職中の障がい者の方が抱える課題に応じて雇用及び生活の面でサポートを行います。

障害者就業・生活支援センターはまゆう
☎0940-34-8200

学校では特別支援教育を行っています。

子育て教育サイト「むむハグ」

子育てに奮闘中のママやパパが困ったときに閲覧する「行政サービス情報」や、育児を楽しむための「学習・活動・行楽・イベント」などの情報を発信します。



「特別支援教育」とは

障がいのある児童生徒の自立や社会参加に向けて、一人ひとりの教育的ニーズを把握し、持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために、適切な教育や指導を通じて必要な支援を行うものです。特別支援教育は、連続性のある多様な学びのため①通常の学級、②通級による指導、③特別支援学級、④特別支援学校で行われています。

すべての子どもたちには様々な学びの場があります。

～全国的に特別支援学級だけでなく、通常の学級でも支援が必要な子が増加しています～
※学びの場とは、通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校のことです。

1 通常の学級

一人ひとりのニーズに配慮しつつ通常の学級のカリキュラムに基づく教育を行っています。特別な教育的支援を必要としている児童生徒が在籍することを前提として「ユニバーサルデザインの視点を活かした授業づくり」や「ICTを活用した合理的配慮」などを取り組みとして行っています。

ユニバーサルデザインの視点を活かした授業づくり

『わかる・できる・探究する』ことを目指す授業デザイン(日本授業UD学会)を取り入れ特別な支援が必要な子を含めて、通常の学級におけるすべての子が楽しく学び合いができる授業づくりを行っています。

シンプル



クリア



ビジュアル



シェア



福岡県教育センター、「通常の学級におけるユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくり」

必要に応じて②③④の支援が受けられます

2 通級による指導

通常の学級に在籍し、通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする児童生徒に対して、週に1回や隔週に1回、月に1回など様々な頻度で特別な指導を行います。
自校または保護者の送迎により他校の通級指導教室に通います。

特別の指導例

例えば、自分の感情の表現や行動の調整が難しい場合には、個別や小集団でゲームやロールプレイなどを通して、気持ちを適切に伝えることや、気持ちや行動を調整する力を高める指導などを行っています。



3 特別支援学級

障がいのある児童生徒に対し、障がいによる学習上又は生活上の困難を克服するための教育(自立活動や下学年の教科の目標・内容に変更をするなど)を行います。

自立活動とは

個々の児童生徒が自立を目指し、障がいに基づく種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培います。

文部科学省、「2. 特別支援教育の現状」



原則、授業の半数以上は特別支援学級で学びます
通常の学級では、社会性や豊かな人間性、
お互いを尊重しあう大切さを学びます

4 特別支援学校

通常の学級に準ずる教育を施すとともに、障がいによる学習上又は生活上の困難を克服し、自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とした教育(自立活動、合わせた指導、下学年の教科の目標・内容に変更するなど)を行います。

合わせた指導

知的障がいである児童生徒又は複数の種類の障がいを併せ有する児童生徒に特に必要がある際に、日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、作業学習などとして実践されている指導です。

文部科学省、「知的障害のある児童生徒のための各教科について」

作業学習



生活
単元学習



日常生活
の指導



まずは**子どもの将来像をイメージし**、
1つの学びの場ではなく
複数の学びの場を見学しましょう!

見学の際は
各学校に
お問い合わせ
ください。

次年度の学びの場を決定するためには、就学相談が必要です。

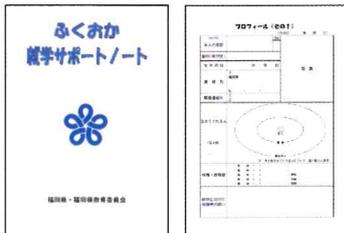
福岡県教育委員会の「障がいのある子どもの教育支援と就学事務の手引」(P17)を参考に本人と保護者の意向や専門家の意見を総合的に勘案して宗像市教育委員会が適切な学びの場を決定します。
就学相談を希望する場合は、在籍する園や学校にお問い合わせください。

※イラストはイメージです。

宗像市の子どもに関する主な取り組み

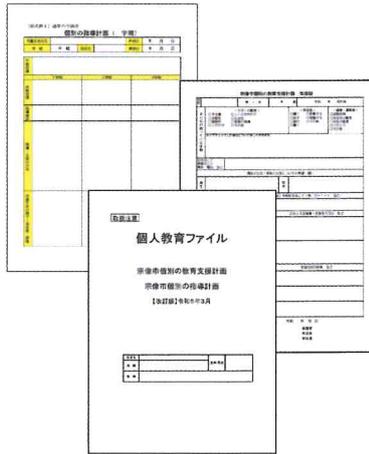
支援の引き継ぎ

保護者と学校間の引き継ぎとして
「**ふくおか就学サポートノート**」
を使いましょう
県のHPからダウンロードできます



小学校と中学校、高校との引き継ぎは

「**個別の教育支援計画、個別の指導計画**」
になります



乳児

● 年中健診

3歳健診以降、就学時健診までの間も、成長発達の確認、必要な発達支援につなぐことを目的に行います。

● 就学時健診

次年度小学校に入学予定のお子さんを対象に健康診断を行います。



幼児

● 就学相談

「発達の遅れが心配」「気になる様子や行動が見られる」など、次年度の子どもの学校就学に関する悩みや不安をお持ちのお子さん、保護者、担任の先生を対象に面談を行います。

● 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成

長期的な視点で学校卒業までの一貫した支援を行うために学校が中心となって作成する計画です。



小学生

● 特別支援教育コーディネーターの配置

学校内の関係者や外部の関係機関との連絡調整、担任への支援などの役割を担うコーディネーターを配置します。

● 特別支援教育支援員の配置

障がいのある児童生徒に対し、学校における日常生活動作の介助や学習活動上のサポートを行う支援員を配置します。



中学生

● 就学援助制度

市立学校に在籍する児童生徒の保護者に対し、世帯の経済状況等に応じて、給食費や学用品費などを援助する制度です。

● 障がい児通所支援サービス等の提供

障がいについての相談や、手帳申請の受付、放課後等デイサービス等の利用に関する手続きや様々な福祉サービスの提供を行っています。

乳児～高校生

令和8年4月 開校予定

福岡県立宗像特別支援学校(仮称)

宗像特別支援学校(仮称)の開校にあたり、「教育を通じたお互いを尊重する共生社会の実現」を目指し、福岡県、福岡教育大学、宗像市の三者で連携を強化しています。

地域のみなさんや関係者等との交流教室・スペースを設置するなど、「社会に開かれた学校」「明るく開放的な学校」が特徴です。知的障がいのある児童生徒にとって安全・安心な環境づくりに配慮されています。

